

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス びいすた		公表日		令和 8 年 3 月 25 日	
環境・体制整備	1	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	5	カーテンでの障子切り窓や、パーテーションなどを使っている	一人一人のひのびと過ごし、落ち着く空間作りができることだと思う	
業務改善	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	2	3			
	3	生活空間は、こどもがわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、個々の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4	廊下が狭くはないので、スタッフが通って通している。1日の活動内容を把握し見直しを持って柔軟できるようにしている	階段がないと感じる事がある 児童によっては特性にあった環境作りができていない事は課題	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2	活動室には毎日掃除、消毒を行っている	おもちゃや活動に使用する道具類がもう少し使いやすい工夫は課題	
	5	必要に応じて、こどもが個別の感覚や聴覚を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	女子の発達支援時や休前午後には個室の仕様ができるようにしている		
	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	3	2	支援内容にのみならず、見直しや改善できる事を考えている。また会議に出席できないスタッフについては職員、口頭で会議の内容を伝える		
適切な支援の提供	7	保護者向け研修等により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげられているか。	4	1	評価の意見があった時には前スタッフで共有し対応している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげられているか。	4	1	月に1回、会議を開きスタッフの意見等を取り入れて活動に反映している		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげられているか。	1	4		外部評価は未実施	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	年間の研修計画を作成し、計画に沿って研修、訓練を行っている。 外部研修も参加している		
	11	適切に支援プログラムを作成、公表されているか。	5	0	株式会社びいすたとして共通の支援プログラムを作成し、公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を定期的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	定期的にモニタリングを行い保護者のニーズ等、聞きながら個別支援計画に反映されている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、発達支援支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの個々の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	個別支援会議を開いて情報共有している。参加できなかったスタッフは議事録を読むようにしている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	年度スタッフ間同士で情報共有を行い、適切な支援が行われるよう努めている		
	15	こどもの選好行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		全スタッフが記録を読み取り機会がある良いと思う	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	各関係機関と情報を共有しながら、児童に必要な支援が行われるよう設定している		
関係機関や保護者との連携	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	月1回の事業所会議やイベント自にはスタッフ同士で案を出し合っている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	スタッフが意見を出し合い、いろいろな体験ができるように工夫している		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を両立組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別活動では体調等を見ながら、その児童のレベルに合わせた取り組みを行っている		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	支援開始の前には当日の活動内容の打ち合わせを行っている		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、良かった点等を共有しているか。	5	0	支援終了後には送迎時の保護者からの伝達やヒヤリハット報告、その他気づいた事などの情報共有を行っている		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげられているか。	5	0	支援記録をつけている		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年に一度を目途に見直しを行っている		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	0	児童の体調等を見ながら支援計画に沿って活動が行われるように配慮している		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力をつけるための支援を行っているか。	5	0	活動に選択権を取り入れ、自己決定ができる環境を作っている		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者が参加している		
	27	地域の保健、医療(生活支援協力機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	相談事務所、学校等情報共有を行い、必要があれば担当者会議を頻くなどで連携を行っている		
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、施設調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5	0	行事予定等を関係者の方から伺っている。 施設調整があった場合は送迎時に先生から連絡を伺っている		
	29	放課前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	個別支援計画、アセスメント、インフォーマルなアセスメント等書面で情報共有している また、移行前に見学を行っている		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	個別支援計画や口頭で情報を共有している		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		機会があれば参加したい	
保護者への説明等	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		参加する機会を作ってほしい	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時の簡潔なコミュニケーションと連絡帳による間接的な情報交換をしている		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	契約時に説明を行っている		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもと保護者の意見の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	モニタリング時には家族や学校での様子や意向を伺いながら、放課後等デイサービスでの支援方法について話し合っている		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	支援計画を作成し、同意を得ている		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、適切な必要な助言と支援を行っているか。	5	0	送迎時や必要があれば相談等の機会を作り対応している		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を創出する等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を創出する等の支援をしているか。	5	0	園外には家族で参加できる機会を設けている	保護者同士の交流の機会を作ってほしい	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	4	苦情があった場合は迅速な対応も心掛けている		
非常時の対応	42	定期的に連絡等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動調整や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	事業所連絡を作成し、配布している インスタグラムやホームページ等で子供の活動の様子を伝えている		
	43	個人情報取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報保護法に準拠して管理している		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	絵カード、文字を用いた情報伝達を行っている		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0		今後、夏祭りイベントを通して地域の方も招待できることと思います	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	4	委員会を開設し、委員会での内容を踏まえ事業所研修を行っている 防災訓練、感染症訓練、年終の研修計画に盛り込み訓練を実施している	マニュアル等の策定はしているが保護者には周知されていない	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に演習、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	シミュレーションボードゲームを活用している		
	48	事前に、地震や火災、大規模な自然災害等のこどもの状況を把握しているか。	5	0	アセスメントシートに記入してもらいスタッフ間で情報共有している	成長するにつれ、事業所こどもの状況が変化することがあるので、定期的に更新は必要	
	49	危険アレルギーのあるこどもについて、医師の指示に基づく対応がされているか。	4	1	現在、指示書が出るほどのアレルギーの子はいない		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を作成し、研修を行っている		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		家族への周知はできていない	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討を行っているか。	5	0	ヒヤリハット、事故報告に記入しスタッフが共有できるようにしている			
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	委員会を開設し、定期的に委員会を開催し、各事業所でも研修の機会を設けている 新人のスタッフには研修を行っている			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	委員会を開催し、やむを得ない状況にあつた場合の対応について周知徹底している			